

YIC NEWS

2018年3月号



No. 332

平成29年度 YIC日本語サークル発表会

YIC日本語サークルで勉強している外国人が学習の成果を日本語で発表します。発表会終了後、昼食をしながらの交流会を開催します。皆さまの応援観覧の参加をお待ちしております。



発表会の様子

3月11日
(日)



★発表の部

- 【時間】 10:00~12:00
- 【定員】 50名(要予約・先着順)
- 【参加料】 無料
- 【発表者】 カンボジア・中国・ベトナム・タイ・台湾・ブラジルの8名の方を予定
※変更する場合があります

★交流の部

- 【時間】 12:00~14:00
- 【参加料】 1,000円
- 【予約】 参加予約は3月6日までに

日本語サークル

ボランティア
募集中

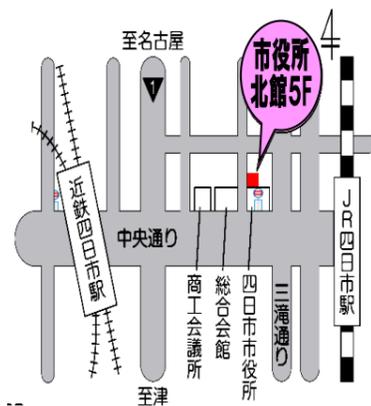


四日市国際交流センターでは、外国人向けのマンツーマンの日本語教室「日本語サークル」を毎日開催しており、ボランティアを募集しています。日本語を日本語で教えていただきますので、資格・教師経験・外国語の語学力など一切不要です。ご興味のある方は、当センターまでご連絡・お問合せください。

公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
よっかいちこくさいこうりゅうせんたー
四日市国際交流センター
よっかいちしすわちやう よっかいちしやくしよきたかん かい
〒510-8601 四日市市諏訪町1-5 四日市市役所北館5階

【Tel】 059-353-9955
090-6572-9440 (Softbank)
【Fax】 059-355-5931
【Email】 yic@yokkaichi-shinko.com
【URL】 http://yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】 9:00~17:00
【休館】 月曜日・祝祭日・年末年始



ラウンジ展示3月

竹画展

東海道日永郷土資料館が所蔵する東海道五十三次の浮世絵を竹の板に書いた「竹画」を展示します。



四日市市の観光大使 シズオ・Z・クワハラの世界紀行⑧



今月は、前回書かせていただいたコンクールの完結編です。昨年11月(12月再放送)NHKテレビのBS1チャンネルにて「BS世界のドキュメンタリー『カリスマ指揮者への道』」が放送されましたが、放映されていない部分を紹介させていただきます。



決勝発表・ショルティ夫人と

1回戦では応募者540名のうち24名が招待され、2回戦で9名まで絞られました。ドキュメンタリーでは最年少のウズベキスタン人指揮者に注目されていましたが、そのようなドラマがあったことは番組を観て初めて知りました(笑)参加者にとってコンクールは非常に緊迫している空気で、周りの事情など伺い知る余裕がないのです。決勝戦に進めなかった彼は2年後のコンクールに特別招待されることになり、ひいきをしているのではないかと業界内で問題になったようです。

ブ람スのハイドン変奏曲とサン＝サーンスの序奏とロンド・カプリチオーソの課題曲を振り終え、決勝進出の発表。なんとか三人のうち一人に選ばれたのですが、進出したなかには他のコンクールでも対戦したことのあるライバルがいました。ポーランドのコンクールでは彼が優勝しました。課題曲はウェバーの「魔弾の射手」序曲とストラヴィンスキーの「火の鳥」(1919年版)です。ストラヴィンスキーはパート譜にミスプリントがいくつかあるのを理解していたので自ら修正や書き込みをしたパート譜を持参し、それを使用するようオーケストラに頼みました。しかし、他のファイナリストが「それは不公平だ」と意見しましたが、コンクールのルールではパート譜を持ち込んではいけなかったため、使用が認められました。決勝戦のリハーサルは前日に45分与えられていましたが、なかなか思ったようにまとめられず暗雲が立ち込めていました。しかし、決勝戦のコンサートでは全曲暗譜で振った甲斐があり、細かい指示も目を使いながら最大の表現をオーケストラから引き出すことが出来ました。そして結果発表。3位が発表され、例のライバルと私が残りました。発表舞台裏で彼と「結果がどうであっても良い仲でいよう」と誓い合い、2位の結果を待ちました。その時の時間がとても長く感じられました。そして…ライバルの名前が先に呼ばれました。お互いにいろんな感情を抱きながら結果を噛みしめました。そのライバルの彼とは今でもとても仲良く、同じ国に滞在しているとよく飲みに行きます。

放送を見逃した方は「もう一度見たい!世界のドキュメンタリー」のサイトから「2017年11月21日放送カリスマ指揮者への道」の詳細をクリックして投票していただければ再放送される可能性があります。既にご覧になられた方も見逃してしまった方の為に投票していただくと幸いです。

<https://www6.nhk.or.jp/wdoc/vote/index.html>



旧オペラ座コンサートホール



プロフィール profile

1976年日本人の両親の下、東京に生まれる。少年時代は四日市市三滝台に住み、津田三滝幼稚園、暁小学校に通う。10歳でアメリカに移住し、イーストマン音楽院を経て名門エル大学音楽科にて指揮を学ぶ。ドイツのゲオルグ・ショルティ国際指揮コンクール優勝。フィラデルフィア管弦楽団の指揮者を勤めた後、オーガスタ交響楽団音楽監督に就任。現在、オランダ・アムステルダムを拠点に活動中。2016年7月、四日市市の観光大使に就任。

3月の開館日				開館	休館	イベント
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

日本語サークル ボランティアさんの海外旅行記 ②



やくそく ほうもん
「約束したエジプト訪問」

山下 勇さん

それは2003年10月のことでした。当時の四日市国際交流協会から、環境技術の勉強に来日するエジプト環境庁職員の環境研究員を日本文化体験のためにホームステイの依頼を受けました。我が家では、たくさんのイスラム教徒のホストファミリーを引き受けたことがありましたが、エジプト人は初めてでした。

外国人に珍しい食事をと、家内が手巻き寿司を用意した時のことです。じーっと食材を眺めていた彼は突然breadが欲しいと言いました。そして用意した薄切りトースト2枚に卵焼きと胡瓜の切ったものを挟んで、即製サンドイッチを作り食事を済ませたのでした。ご飯と生の魚を黒い紙で巻いた物を食べる気にはなれなかったようです。



4500年前に造られたギザのピラミッド

外国人観光客が少なく、昔は大混雑したであろう古代遺跡などは、頑丈な柵でガードされて、多数の武装警官隊が守っており、快適に見学することが出来ました。街の要所には、機関銃を据えた装甲車と軍隊の姿が見られ、厳しさを感じさせられました。次の遺跡の街へはナイル川をクルーズ船で移動し、宿泊も船内で、船着場も武装警官により24時間警備されており、陸軍基地の横をバスで通過した際に、砲塔を揃えて並ぶ戦車の群を見て、四次に渡りイスラエルとシナイ半島で戦闘を交えた戦車かと感慨深いものがありました。

平和な日本に住むことが出来る幸せを感じさせられる旅でした。



妻と訪ねたピラミッドとスフィンクス

スエズ支局に勤務する彼から「案内するから是非来い」と言われたので、数年後にエジプトを訪問する用意をしました。が、テロが発生しキャンセルしました。今も中東ではテロや騒乱がまだ続いています。エジプト政府が旅行者の安全を確保してくれるということで、昨年末に出かけました。14年前に訪問を約束したGhareebさんとは日程の都合で会うことが出来ませんでした。



ナヤル湖にのぼる朝日

がいこくじんのためのじょうほう

日本語 にほんご	英語 English	中国語 中文	ベトナム語 Tiếng Việt	ポルトガル語 Português
<p>無料行政相談</p> <p>ビザ（在留資格）の申請・変更、国際結婚・離婚、国籍取得、帰化申請などの手続きに関する相談。</p> <p>毎月 第3日曜日 13:00~16:00</p> <p>場所：四日市国際交流センター（YIC）</p> <p>予約制（1日5名まで） Tel：059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Free Consultations</p> <p>Free consultations on administrative procedures relating to visa, immigration, nationality, international marriage & divorce, etc.</p> <p>Every 3rd Sunday, 1:00-4:00 PM.</p> <p>Place: Yokkaichi International Center (YIC)</p> <p>Reservation required. Limited to 5 appointments each time. Tel: 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>免费行政咨询</p> <p>受理有关签证、在留许可、国际结婚/离婚、归化、入国许可、国籍、户籍等手续的咨询</p> <p>行政咨询(免费): 每月第3个星期日 下午 1:00~4:00</p> <p>地点：四日市国际交流中心 (YIC)</p> <p>预约制 (限额5名) Tel : 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Thảo luận các vấn đề hành chính miễn phí</p> <p>Thảo luận về các thủ tục liên quan đến các vấn đề như đăng kí, thay đổi Visa (tư cách lưu trú), kết hôn quốc tế, li hôn, thay đổi quốc tịch, xin nhập tịch.</p> <p>Thời gian : Chủ nhật tuần thứ ba hàng tháng. 13:00 - 16:00</p> <p>Địa điểm : Trung tâm giao lưu quốc tế Yokkaichi (YIC)</p> <p>(Phải đặt lịch hẹn trước, một buổi tối đa 5 người.) Số điện thoại : 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Consulta Gratuita com tabela</p> <p>Visto, Autorização de residência, Casamento/Divórcio internacional, Naturalização, Autorização de entrada, Nacionalidade, Registro familiar etc.</p> <p>Terceiro domingo de cada mês, 13:00-16:00</p> <p>Para reserver, por favor contactar a YIC. Apenas 5 pessoas por dia. Tel : 059-353-9955 090-6572-9440</p>
<p>無料法律相談</p> <p>日時：毎月第4水曜日 13:00~16:00</p> <p>場所：四日市国際交流センター（YIC）</p> <p>予約：YICへ電話または来館 Tel：059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Free Legal Consultation</p> <p>Date and Time: Every 4th Wed., 1:00-4:00 PM</p> <p>Place: Yokkaichi International Center (YIC)</p> <p>Call YIC to make a reservation. Tel: 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>免费法律咨询</p> <p>时间：每月第4个星期三 下午 1:00~4:00</p> <p>地点：四日市国际交流中心</p> <p>预约：电话预约，或到窗口预约 Tel : 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Thảo luận pháp luật miễn phí</p> <p>Thời gian : Thứ tư tuần thứ tư hàng tháng. 13:00 - 16:00</p> <p>Địa điểm : Trung tâm giao lưu quốc tế Yokkaichi (YIC)</p> <p>Đặt lịch hẹn bằng cách gọi điện hoặc trực tiếp đến Trung tâm giao lưu quốc tế Yokkaichi (YIC). Số điện thoại : 059-353-9955 090-6572-9440</p>	<p>Consulta Gratuita com advogado</p> <p>Data e Horário : quarta Quarta-feira de cada mês, 13:00-16:00</p> <p>Local : Centro Internacional de Yokkaichi</p> <p>Para reserver, por favor contactar a YIC. Tel : 059-353-9955 090-6572-9440</p>

意識

A Promised Visit to Egypt

This was in October 2003. At that time, I accepted a homestay request from the Yokkaichi International Center to host and introduce some Japanese culture to a researcher from the Egyptian Environmental Agency, who will be coming to Japan to study environmental engineering. I have hosted many Muslims at my house before, but never an Egyptian.

We decided to prepare a fine meal for our guest. When my wife was preparing to make hand-rolled sushi, he gazed fixedly at the ingredients, and suddenly asked for bread. So we made a quick sandwich out of fried eggs, slices of cucumber, and two thin slices of toast. It seemed he didn't feel like eating rice and raw fish rolled up in black paper.

He said he would guide me if I came to Egypt. Years later, after having just prepared for the trip to Egypt, terrorism broke out and the trip was canceled. Terrorism and mayhem continued in the Middle East, but the Egyptian government ensured the safety of its travelers. So, I went at the end of last year. I promised Mr. Ghareeb 14 years ago that I will pay a visit. Unfortunately, due to scheduling conflicts, I wasn't able to meet him.

In the past, ancient ruins, etc. had been heavily crowded, so they were guarded by rugged fencing and many armed police. Now, there are few foreign tourists, so the ruins can be pleasantly observed. In key positions of the district, machine guns affixed to armored vehicles and the presence of army troops can be seen, showing the severity of the situation. To get to the next historic ruins district, a cruise was taken down the Nile River. Lodging was on board the ship. The harbor was also guarded with armed policemen 24 hours a day. When passing by the side of an army base on the bus, I saw tanks all lined up. It deeply moved me and made me